

プログラム名 (40字以内)	能登の里山里海を紡ぐ関係人口創出 ～FSの継続から能登町の復興へ～		
団体名/所属	FS能登町支援チーム・石川県能登町 (活動指導教員 大気海洋研究所 津田敦 教授)		
活動区分	ボランティアなどの社会貢献活動	希望する選考方法	書類審査後に面接(書類審査合格者には6/7-14の間で面接を行います)
募集人数	3～5人	選考対象	大学院学生を含む
活動方法	オンラインを活用しつつ現地活動を行う		
参加者に求めるもの	定期的なミーティングや現地活動等(詳細は後述)、プログラムの全期間での継続的なコミットメントを求めます。活動内容・形式・忙しさ等はFSに準じるため、必ずFSのHPを確認して概要を理解してからご応募ください。		
活動期間	2024年7月中旬～2025年3月中旬まで ※「あばれ祭り」の開催に合わせ、7/5,6,7に能登町にてキックオフミーティングを実施する可能性があります。参加できることが応募の条件ではありませんが、ぜひご予約を合わせてご参加ください。	主な活動予定場所	石川県能登町、大学内等
プログラム実施の目的	2023年度まで7年間継続してきたFS能登町ですが、2024年1月1日の能登半島地震によって、能登町では8年目の準備が進められていた中でその準備を中止せざるを得なくなり、2024年度の応募もできなくなってしまいました。本企画は、能登町がその8年目の活動を続けられるよう、これまでFS能登町に参加した学生からなる能登町支援チームが企画・運営を引き継ぎ、体験活動プログラムとして募集するものになります。参加者には、これまでのテーマである「能登町の関係人口を創出すること」とともに、「能登町の復興に寄与すること」という目的に沿って、FSと同様の形で活動を進めていただきます。		
具体的な内容(800字程度)	<p><はじめに> 石川県能登町には、豊かな里山里海・あばれ祭りに代表されるような神事等、日本の原風景とも言える生活・文化が根づいています。しかし、人口減少等の課題から、これらの継承には課題があります。そこで能登町では、関係人口を創出することによりこれからの能登町とともに作っていくとする試みが行われており、FSではこれまで7年間で28人の学生が能登町とともに活動してきました。能登半島地震という大きな震災を経験した能登町とともに、復興への道のりを進め、同時に地方が抱える根本的な課題の解決に寄与する活動の参加者を以下の通り募集します。</p> <p><活動概要> 石川県能登町を活動地域とするフィールドスタディ型政策協働プログラム(FS)の8年目の活動という形で実施いたします。なお、例年FS能登町チームを受け入れてくださっている自治体担当者の方々が能登半島地震の復興業務にも携わっているため、状況が改善するまでの間、FS能登町の1～7年目のメンバーの有志で構成されるFS能登町復興支援チームが、現地の方々の仲介サポートを行います。</p> <p><活動頻度> 現地での活動については、プログラム参加者決定後にメンバー内で日程調整をして決めていただきます。夏季休業中や土日祝日等、授業時間外に実施し、学業には支障のない形で行います。なお、現地での活動は、目安として2回としておりますが、参加者の希望に合わせてそれ以上の回数訪問することも可能です。 また、月に数回程度のミーティングや学内調査等を、企画者や現地自治体担当者との間で、もしくは参加学生間で行い、活動を進めていただきます。</p> <p><活動内容> ◎関係人口創出・復興に寄与する取り組みを企画・実行していただきます。活動の詳細については、参加者・能登町・FS能登町支援チームで協議を行い、決定してまいります。 ・現地活動(視察・ボランティア等) ・学内調査や定期的なミーティング ・考えられる具体的な取組例(仮のものです) 一PR・復興支援イベントの実施 一ボランティアや被災地の視察を行うツアーの企画 一支援チームや本企画の来年度以降への引継ぎなど、継続的な支援体制の構築</p>		
【総額】参加するための費用	100,000円 (現地活動2回分の費用。このうち、体験活動プログラムからの奨励金の支給があるほか、東大基金の特別プログラムからの支援があり、FSと同様の支援体制となる見込みです。詳細は参加者決定後に説明いたします。)		
【内訳】参加するための費用(宿泊費)	20,000円		
【内訳】参加するための費用(交通費)	80,000円		
【内訳】参加するための費用(その他)	食事代		
奨励金額(予定)	25,000円		
備考	異なる点が多いため、内容をよくご確認の上、ご応募ください。不明点については、体験活動推進チームか企画責任者にご連絡ください。 【問い合わせ先】 体験活動推進チーム taikenkatsudou.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp 企画責任者 sc-8530-yellowtailer@g.ecc.u-tokyo.ac.jp		
活動に関する関係資料のダウンロードサイト	フィールドスタディ型政策協働プログラム(FS)HP→https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/students/special-activities/h002.html		
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合)	https://www.instagram.com/noto_choice2022/ https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/actions/noto_earthquake.html		
この企画に対する担当者(応募団体の参加の有無)	参加しない		